

元吉町 まちづくりニュース

祇園新橋地域のまちづくりを考えていくため、「元吉町まちづくり部」を立ち上げ、活動を開始しました。「元吉町まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

Vol. 10

2016年(平成28)3月

発行：元吉町まちづくり部

TEL：090-1918-4249(富田)

部の活動に関するご意見・ご質問がありましたら、ぜひご連絡下さい。

白 川 の お 掃 除

白川の川底と白川南通の生垣をみんなでお掃除しましょう！

【日時】2016年**3月6日(日)** 午前**9時**~10時

【場所】「辰巳大明神前集合」

【申込】申込は不要です。直接お集まりください。

【用意】汚れてもよい服装・長靴・タオル・軍手(またはゴム手袋)・
ゴミ袋・火バサミ・ほうき等

取 組 辰巳大明神 初午祭

二の午となる2月18日(木)、辰巳大明神の初午祭が執り行われました。

まちづくり部の取組として、のぼりを掲げさせていただくことが恒例となり、手際よく作業することができました。

皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

祭事後片付けの後に、プチ足洗いを行いました。3回目となる今回は中谷さんのご協力によりお雑煮を頂きました。具たくさんのお雑煮に中谷さんの勢いを感じざるを得ませんでした(^^)m

料理屋さんの多い地域でありますので、今後も、いろいろなお店に足洗い料理にご協力していただきたいと思います。ぜひ、立候補、または推薦の程よろしく願いいたします m(_ _)m



お下がりを前に
思案する中谷さん。



ほぼ「全部入り」
のお雑煮 (^o^)

ごちそうさまで
した m(_ _)m

第16回意見交換会のご案内

小さくてもいい！出来ることを持ち寄ろう！

皆さんの「出来ること」を集めて、今年のまちづくり部の取組を考えてます。

【日時】2016年**3月8日(火)** 午後**1時30分**~3時

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。会費も無料です。気楽にご参加ください。

元吉町に限らず祇園新橋地区の皆さまのご参加お待ちしております！

第15回意見交換会では、「祇園の歴史を学ぶ」というテーマで、末吉町の坂田憲治さんからお話をうかがいました。

元吉町を含む祇園新橋地域のお茶屋さんが祇園の中で最も古い歴史を引き継いでいるといっても過言ではないこと、また、時代に合わせてお茶屋さんが様々な変化してきたことなど、興味深い話が尽きることがありませんでした。

歴史を紐解くことで、地域の特色をよりよく理解し、これからのまちづくりの方向性にも生かしていきたいと思えます。

また、皆さんのお宅にも、地域の歴史を伝えるもの必ずあると思えます。ぜひ探してみてください。ささいなものと思っていたものが実は意外とお宝だったりするかも(^o^)



2月9日(火)「登希代の2かい」にて。参加者は16名でした。

【議事録メモ】

- ・茶屋の起源は、文安元(1444)年、北野社殿の廃材で茶屋七軒を建てたのが始まりと言われている(現在の上下七軒)。
 - ・天正10(1582)年、公家の山科言経の日記には、祇園の茶屋で泥酔したことが書き残されている。
 - ・元和元(1615)年、四条通を中心にお茶屋ができた。
 - ・寛永～寛文年間(1600年代中盤)に縄手通に蜩茶屋が現れた。
 - ・寛文6(1666)年、鴨川岸に石垣を築き、祇園外六町(鴨川の東岸、四条通南から団栗通辺り)が開発されて、祇園新地と称した。
 - ・寛文10(1670)年、護岸の大改修(寛文の新堤)により、外六町が成立し、縄手通も開通した。
 - ・正徳2(1712)年、祇園内六町(四条より北、元吉町とその周辺)が開発されて新家と称した。翌年、茶屋などが建ち始めた。
 - ・享保17(1732)年、祇園茶屋株30株が公許されて、その上納金で大和橋を石造りに架け替えた。
 - ・延享年間(1740年)ごろ、祇園内六町が成立。
 - ・嘉永4(1851)年、祇園町の紋(八つ団子)が決まる。内六町と祇園南北二町の意味がある。
 - ・安政6(1859)年、内六町に外六町が加わり祇園が一廓となった。
 - ・元治元(1864)年、禁門の変(どんどん焼け)。祇園は助かった。
 - ・慶応元(1865)年、祇園大火。どんどん焼けでも助かった祇園一帯が、26ヶ町1800軒焼失した。
 - ・明治3(1870)年、祇園町北側の膳所藩邸を手に入れ東富永町と称す。膳所藩邸の裏側だったことから、周辺を膳所裏と言う。
 - ・明治5(1872)年、第一回都をどり新橋の松乃屋で開催。一回目は歌舞練場ではなかった。
 - ・明治19(1886)年、祇園が甲部と乙部に分裂。
 - ・大正元(1912)年、祇園の四条通の拡築。一方の入り口が四条通(北側)から花見小路(西側)に移った。大通りに面しての茶屋の玄関が禁止された。
 - ・昭和24(1949)年、祇園乙部歌舞練場完成を機に、祇園東新地と改めた。
- 現在の祇園の町並みは、幕末の祇園大火の復興からになるので、明治以降のものといえます。

【報告事項】

①お地蔵さんの移設問題について

- ・1月30日に町内で話し合い、現状から動かしたくないことを確認しました。
- ・町内および関係者の要望を署名として確認し、その旨を伝えさせていただくことになりました。ただし、個人情報が含まれるため、署名を開示することはありません。

②お茶屋さん・料理店・店舗との協力について

- ・料理店、お茶屋さんなど時間的に日頃のまちづくりに参加しづらい方にも参加していただける企画を考えたい。
- ・白川南通はイベントに最適な場所なので活かすことも考えたい。
- ・地域のグッズを開発して、例えば脂とり紙、手ぬぐいなど、それらの販売を各店舗にお願いすることで、まちづくりに協力して頂くという方法もひとつのアイデアである。
- ・まちづくり部メンバーそれぞれが、小さくても出来ることを持ち寄って、部として出来ることを大きくしていきたい。